



株式会社 村上開明堂

〒420-8550 静岡県静岡市葵区伝馬町11番地5
TEL:054-253-1811 FAX:054-253-1818
<https://www.murakami-kaimeido.co.jp/>



植物油インキを使用しています。

AW-2411-000300

みえる安心があなたを
もっとアクティブにする

Clear reassurance inspires your actions

／ご挨拶

革新的な製品・ソリューションで新時代の「みえる安心」を提供する

村上開明堂は140年間、時代の変遷とともに新分野に挑戦し、技術力を高め、自動車用安全視認システムをはじめ、社会の安全・安心・快適に貢献する製品の提供に取り組んでまいりました。

昨今、自動車産業の業界構造をはじめ、私たちの事業を取り巻く環境は劇的に変化しております。このような事業環境を鑑み、既存事業の競争力強化に加え、150周年へのビジョンとして、新時代の「みえる安心」の創造を掲げ、社会の新たな安全・安心・快適のニーズに応える新製品・新技術の創出に取り組んでまいります。

私たちは、これからも事業を通して地域社会、そして世界の「人の役に立つ」企業でありたいと願っています。



安全視認システムメーカーとして培った信頼と先端技術を融合させて、人々の安全・安心・快適・健康な暮らしと、環境課題の解決に貢献するために、革新的な製品・ソリューションを創造し続けてまいります。

今後ともさらなるご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2022年10月

代表取締役社長

村上太郎

／経営理念

私たちは、社業を通じて「人の役に立つ」村上開明堂を目指します。

安全、安心、快適に使える製品・サービスを通して「絆」を結び、社会に「幸せ」を提供し、輝く未来をつくれます。

／社是

健康

健全な精神は健康な体に育まれる。
会社の発展も、社会への奉仕も、個人生活の安定もすべて健康であることから始まる。

信頼

おたがいに信頼し合うことがすべての根本である。
礼儀正しく、相手の立場を理解して確実な仕事をしよう。
そこから信頼が生まれる。
常に業務の改善と自己啓発を心がけよう。
向上もまた信頼につながる。

親和

仲良く明るい職場を誇りとしよう。
ルールと秩序を守り、感謝と反省を忘れずに集団の中で個性を活かす工夫と努力を重ね、
仕事を通して個人の理想をも成しとげよう。

自動車用バックミラー

REARVIEW MIRROR

村上開明堂の自動車用バックミラーは国内トップシェア。独自の技術開発力と提案力で先進の機能を提供し、自社一貫生産により高いQCD(品質・コスト・納期)を実現。60年以上にわたり自動車の安全・安心・快適に貢献しています。

バックミラー製品

ドアミラー

車両ドア外側に装備し、側方・後方の視界を確保するための製品です。運転席からの死角をカバーします。

サイドターンランプ

右左折時に点灯することで、他車両や周囲に意思表示して注意を促します。

BSMユニット(ブラインドスポットモニター)

後方から他車両が接近した際、アイコンが点灯し運転手に注意を促します。運転席からの死角(左右後方)をカバーします。

ユニット:電格

ドアミラーを自動で開閉するための装置です。ドアミラー格納を補助し、駐車時の歩行者などとの接触を防ぎます。

ユニット:アクチュエーター

ドアミラーの鏡面部を動かす装置です。鏡の角度を微調整することができ、後方視界を確保します。

インナーミラー

車両内に装備し、後方の視界を確保するための製品です。主に運転席からの死角をカバーします。

ブルー親水

鏡面の水滴が膜状に拡散するように親水処理を施したミラーです。雨天時も水滴で視界が妨げられず、視認性を確保します。

足元照明内蔵ドアミラー

キーレスエントリー・システム操作と連動してドア足元付近を照らします。スマートエントリーシステム車では近づきだけで自動点灯します。

ドアミラーロゴランプ

車両乗降時、ロゴ(メーカー名、車名等)を地面に照射し、周辺を照らしつつ高級感ある“おもてなし”を演出します。

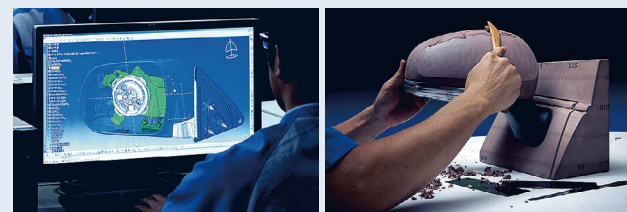
リバース連動ミラー

車庫入れやバック時に、シフトレバー“R”に連動して助手席側のドアミラー鏡面が下方を向き、後輪付近の視界を確保します。

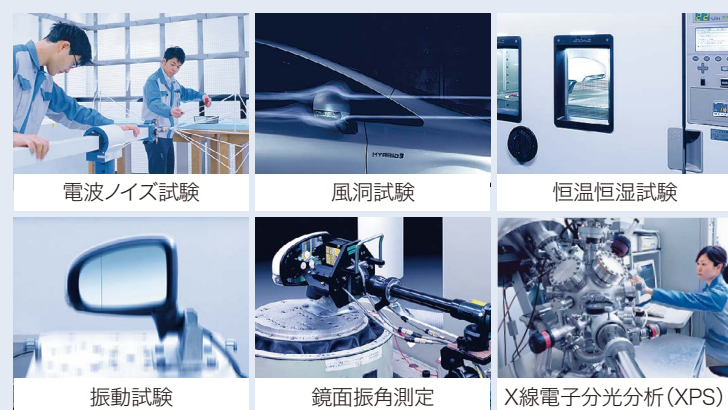
バックミラーの技術

開発・設計

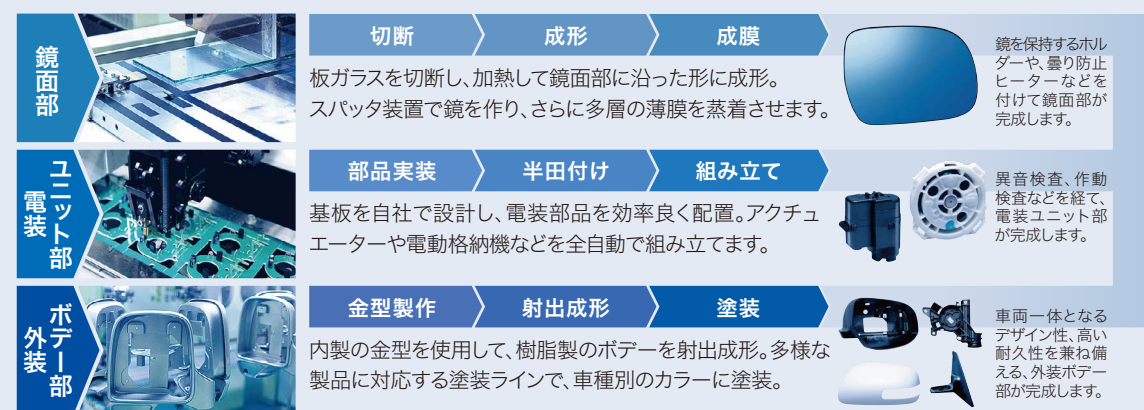
自動車部品の中でも数少ない外装部品であるドアミラーには、過酷な気象や振動などの使用条件に耐える耐水性や耐熱性、耐久性が求められます。当社では、機構設計、回路設計、光学(ミラー)技術を結集して、設計段階で性能や品質を確保。バックミラーのエキスパートとして市場の課題やカーメーカーのニーズをくみ取り、開発設計力と豊富な経験ノウハウを基盤に、世界初を含む数多くの先進機能やデザインを提案しています。



評価・分析



バックミラー製造の一貫工程



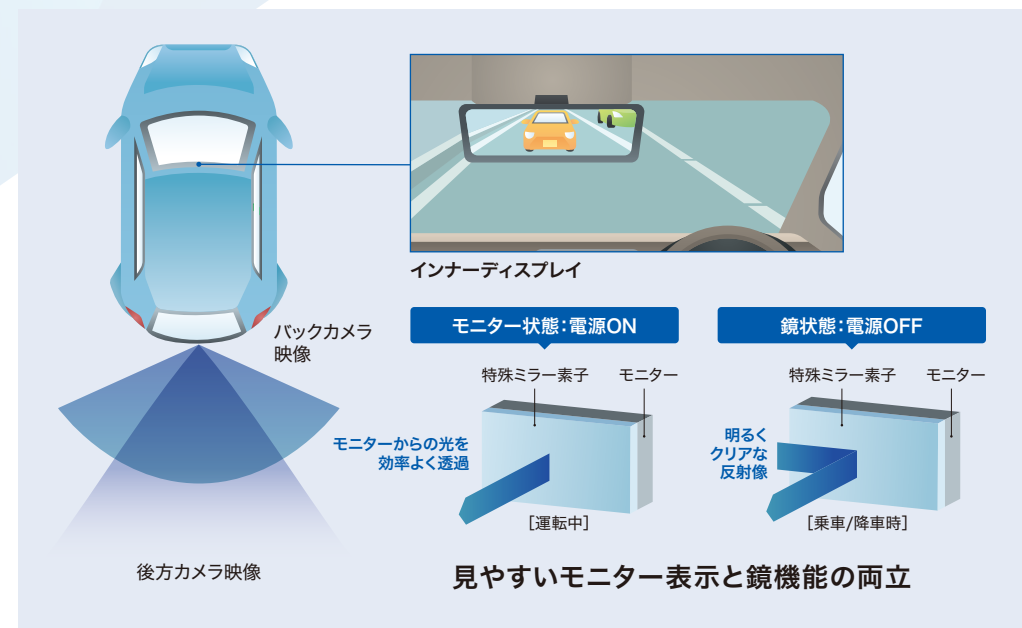
製品組み立て

当社ホームページでもバックミラーの技術を紹介しています。併せてご覧ください。

自動車用製品

電子ミラー：ハイブリッドインナーミラー

車両カメラで撮影した後方の映像を、モニターに表示する電子ミラー。当社のハイブリッドインナーミラーは、従来のインナーミラーより死角が減るため広範囲の状況が把握できるほか、夜間はトンネル内でもはっきり画像が見えるなど、安全性・視認性に優れた特徴を持つ製品です。従来の鏡とカメラモニター機能を必要に応じて使い分けることができ、電源喪失時や乗車前後のエンジンOFF時には自動で従来の鏡に切り替わる「フェールセーフ機能」を有しています。



カメラモニター機能使用時

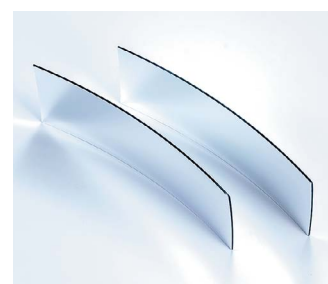
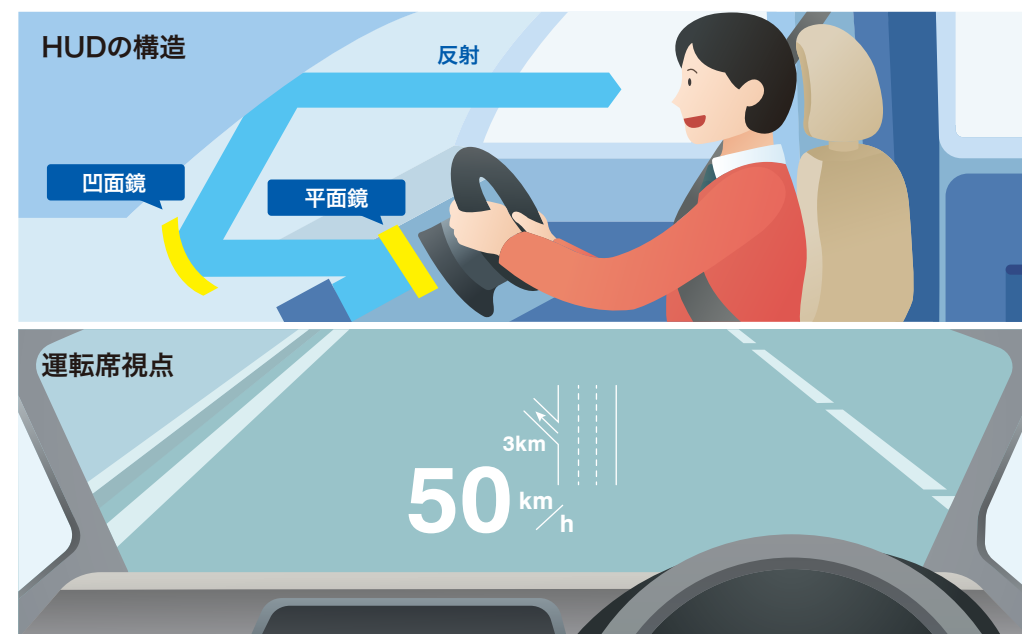


鏡使用時

ヘッドアップディスプレイ(HUD)用凹面鏡／平面鏡

HUDには一般に凹面鏡と平面鏡が利用されています。凹面鏡は映像を反射し拡大するミラー、平面鏡は映像を反射し熱カットするミラーです。

- ガラスの特徴を生かし、温度変化に強く、変形しない
- 鮮明な映像で、フロントガラスの大型化にも対応



凹面鏡



平面鏡

ヒートッド・ウォッシャー

温かいウォッシャー液でフロントガラスの霜を払拭。冬季の運転をサポートします。保温容器により、発進時だけでなく運転中のフロントガラス再凍結時にも、良好な視界を確保します。



ヒートッド・ウォッシャー

- 当社独自の魔法瓶構造により、氷点下の環境でもウォッシャー液温を約50℃で12時間程度キープ
- ON/OFFスイッチ搭載により、フロントガラスが凍る冬季のみ作動可能



プロジェクションカーテシルミネーション

夜間の車両乗降時、ロゴ(メーカー名、車名など)を地面に照射し、おもてなし感を演出します。

- ロゴデザインは“白抜き”“黒抜き”“カラー”など車種によりさまざまなバリエーションに対応可能
- LED光源と投影レンズの当社独自の組合せにより、鮮明なロゴを表示



カーテシユニット



ロゴ照射



EV／PHV充電コネクタ用ロックアクチュエーター

電気自動車(EV)やプラグインハイブリッド車(PHV)専用の充電コネクタの外れを防ぐロックアクチュエーター。充電する際、充電ガンが外れないように車両インレットに充電コネクタを固定します。自動車用ドアミラーの鏡面調整、開閉ユニットで培った技術を活用した、安全性と信頼性に長けた製品です。

- さまざまな規格に準拠(IEC62196:TYPE1、TYPE2 GB/T20234、SAE1772)
- 一つのユニットでTYPE1とGB/Tの共用が可能
- お客様のご要望に合わせてカスタマイズが可能



TYPE1
(GB/Tと共有可能)



TYPE2



TYPE1・2共有

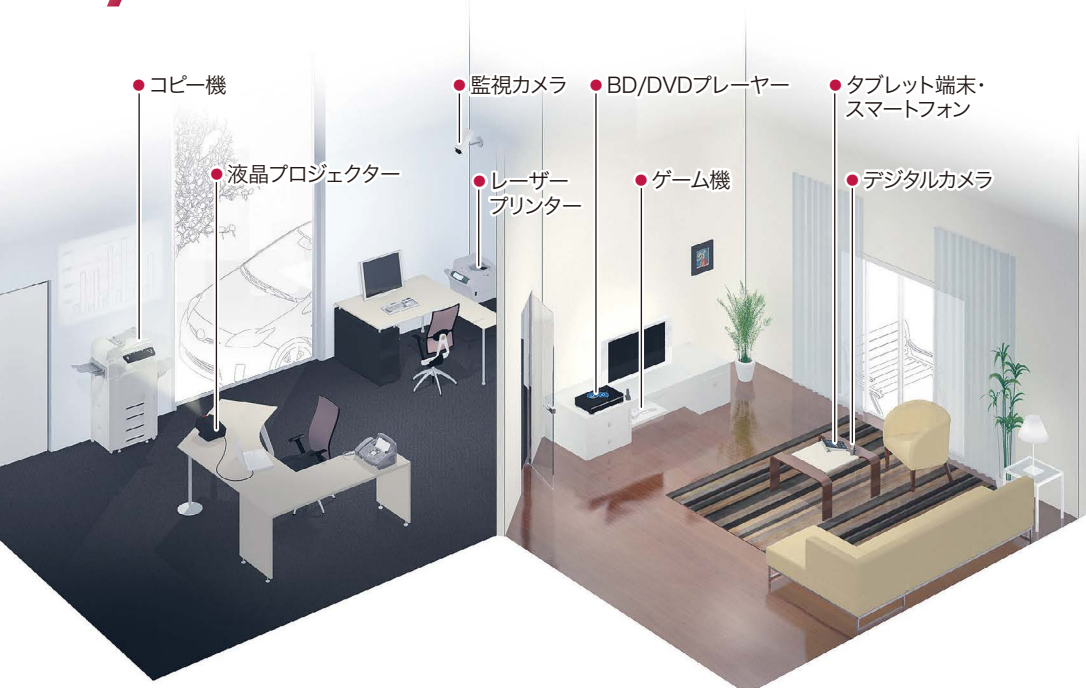


オプトロニクス

OPTRONICS

自動車用バックミラーで培った技術を応用し、OA機器・車載機器・映像機器などの多様な分野に光学薄膜製品を提供しています。お客様のニーズに応じて、ガラスや樹脂に光の透過・反射・偏光などの機能を付与する柔軟な開発力が特徴です。

身近に広く活用されるオプトロニクス技術



映像機器

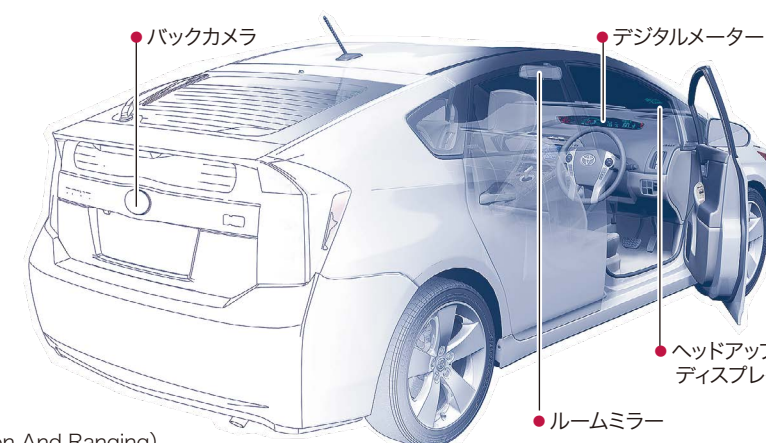
デジタルカメラや液晶プロジェクター、ハイビジョン放送対応TVカメラなど、映像機器の光学エンジンには多様な光学フィルターが使われています。量産品から一点ものの特殊機材用部品まで、柔軟に対応できます。

OA機器

業務用レーザープリンターやスキャナー、複写機など、OA機器にも光学フィルターやミラーが欠かせません。高い精度が求められるこれらの機器にも当社の薄膜製品が採用されています。

車載機器

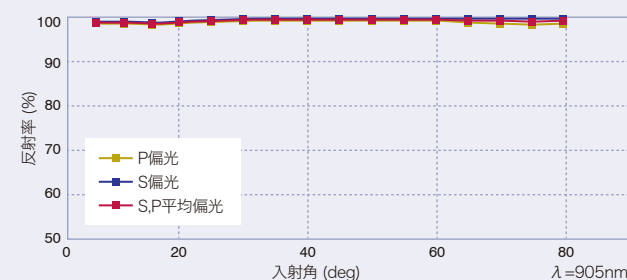
フロントガラスにスピードメーターなどの運転者向け情報を映し出すヘッドアップディスプレイ。ダッシュボードに格納された投影ユニットに当社の薄膜製品が採用されています。



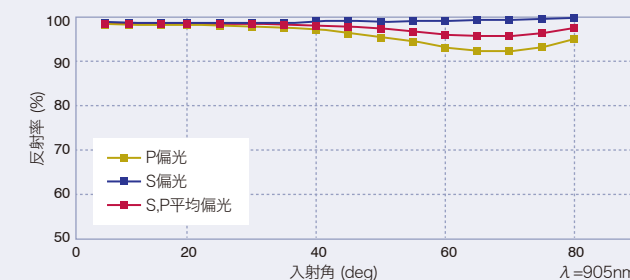
LiDAR用広入射角対応高反射ミラー

自動運転車両のセンシング機器として注目されるLiDAR (Light Detection And Ranging)。より広く、より遠くの障害物を検知するために、幅広い入射角範囲において高い反射率を有するミラーが不可欠となります。当社では目的に合わせて2パターンご提案することができます。

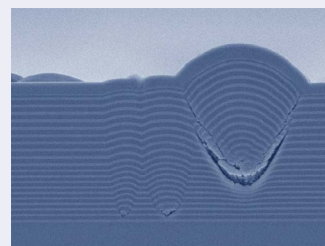
① 性能重視：誘電体多層コート【特性例】



② コスト重視：アルミ (Al) + 誘電体コート【特性例】



薄膜製品の評価・分析



走査型電子顕微鏡 (SEM)

電子ビームを試料に照射し、放出される二次電子等を検出して表面を観察。EDSにより観察表面に存在する元素分布を得ることもできます。



X線電子分光分析装置 (XPS)

試料にX線を照射することで発生する光電子のエネルギー分布を測定し、最表面に存在する元素の種類や結合状態を分布します。



レーザー干渉計

製品の面精度をレーザーで測定。そのデータから表面状態やゆがみのチェックを行います。



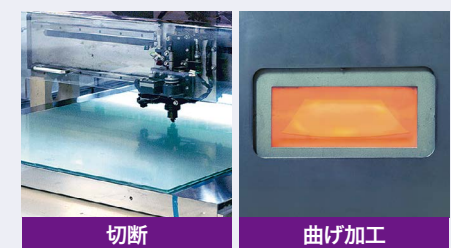
その他

● 分光光度計 ● 蛍光X線分析装置
● 各種光学顕微鏡 ● 恒温恒湿・冷熱衝撃・塩水噴射など各種試験機

薄膜製品の製造工程

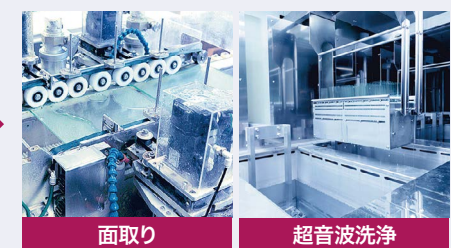
STEP 01 基板加工

原料のガラス板から基板を製造。切断、曲げ加工を経て製品形状に整えます。



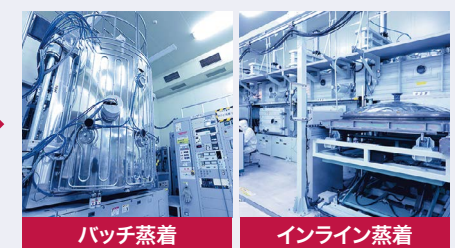
STEP 02 洗浄

ガラス端面の面取りから研磨洗浄まで、自動処理で基板表面の異物を除去します。



STEP 03 成膜

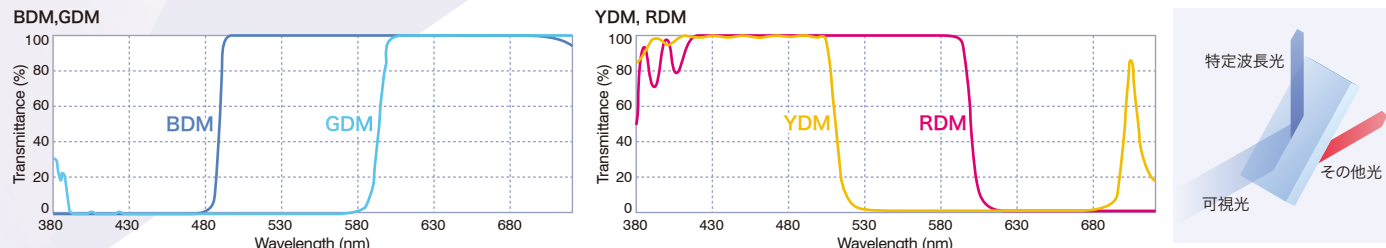
専用設備で基板表面に用途に応じた膜を成膜。ナノメートルの高精度を実現しています。



主なオプトロニクス製品

誘電体多層膜

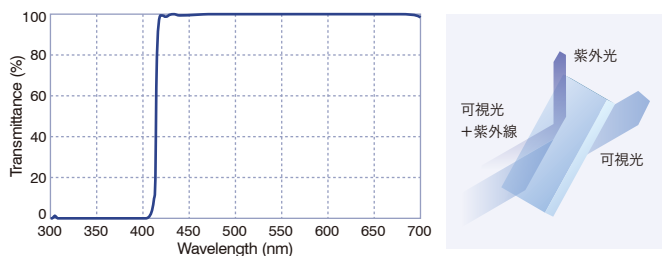
ダイクロイックミラー



可視光より特定波長域の光のみを反射。他の波長域の光を透過することにより、効率良く色分解します。
複数のダイクロイックミラーを組み合わせることで、白色光を3原色(青・緑・赤)に分解できます。

薄膜技術 用途例: プロジェクター、車載HUD

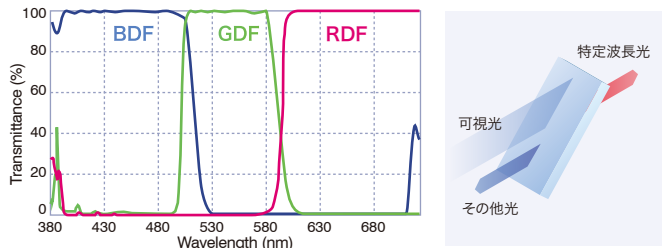
UVカットフィルター



可視光を透過し紫外線を反射します。フィルターを光源と被照射物の間に装着することにより、有害な紫外線を反射してカットできます。

薄膜技術 用途例: カメラ、車載

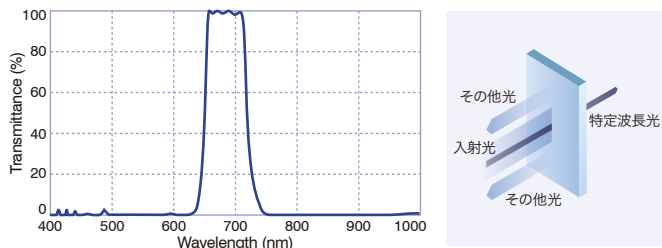
ダイクロイックフィルター



可視光より特定波長域の光のみを透過し、その他の波長域の光を反射するフィルターです。

薄膜技術 用途例: プロジェクター

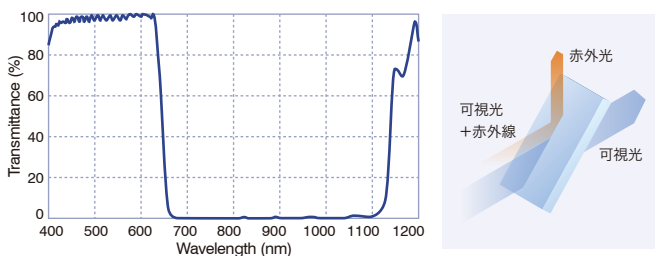
バンドパスフィルター



特定波長域の光のみを透過し、その他の波長域の光を反射します。希望の帯域に合わせ、多種多様な特性が得られます。

薄膜技術 用途例: センシング機器(車載、民生、分析機等)

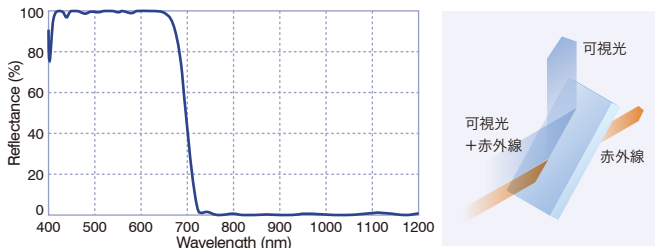
IRカットフィルター



可視光を透過し赤外線を反射します。フィルターを光源と被照射物の間に装着することにより、有害な赤外線を反射してカットできます。

薄膜技術 用途例: カメラ、車載

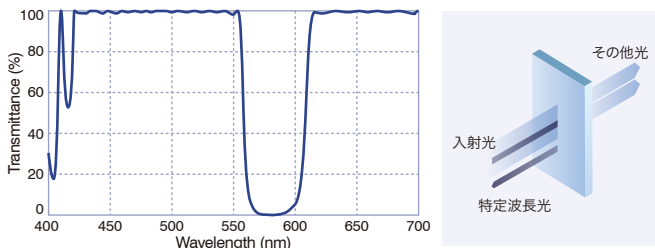
コールドミラー



可視光を反射し、赤外線を透過。誘電体多層コートにより可視光のみ効率よく反射し、熱源となる赤外線は透過させてカットできます。

薄膜技術 用途例: プロジェクター、車載HUD

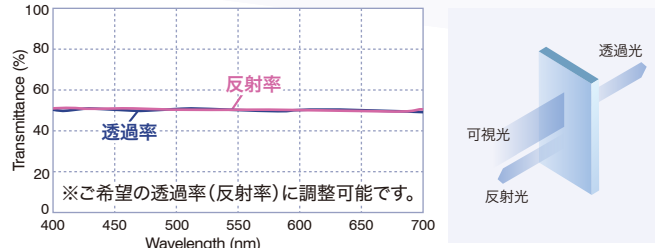
トリミングフィルター



特定波長域の光のみを反射し、その他の波長域の光を透過します。希望の帯域に合わせ、多種多様な特性が得られます。

薄膜技術 用途例: センシング機器(車載、民生、分析機等)

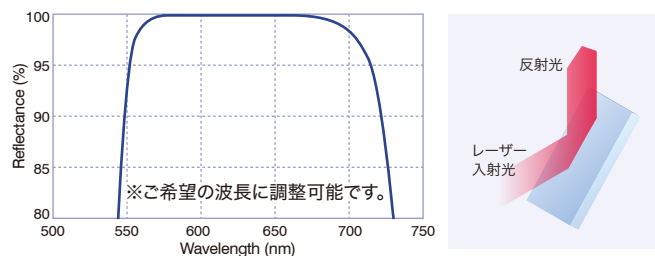
ハーフミラー



希望の波長域において、希望の反射率(透過率)に調節されたミラーです。
誘電体多層コートにより、反射光+透過光≒100%となります。

薄膜技術 用途例: 車載メーター、各種光学機器、センサーなど

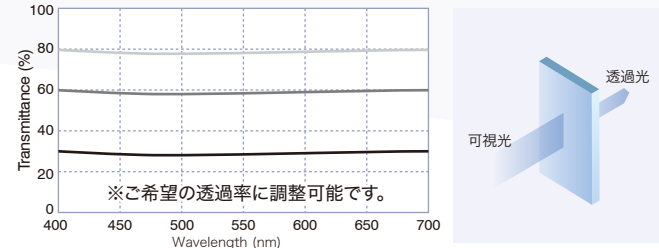
レーザーミラー



低吸収誘電体多層コートにより、レーザー光を100%近くまで効率よく反射。
YAG、HeNe、半導体など、ご希望の波長に対応可能です。

薄膜技術 用途例: レーザー機器

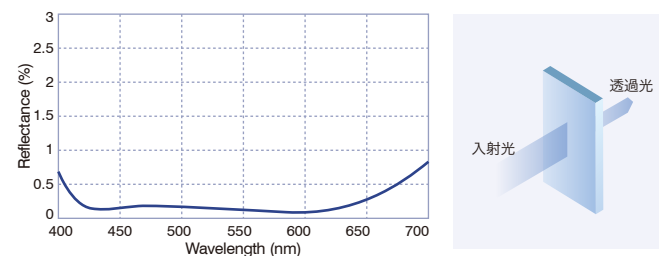
NDフィルター



使用する光を希望の光量に減光します。光量を各波長とも均等に減光させるフィルターです。

薄膜技術 用途例: カメラ

AR(反射防止コート)

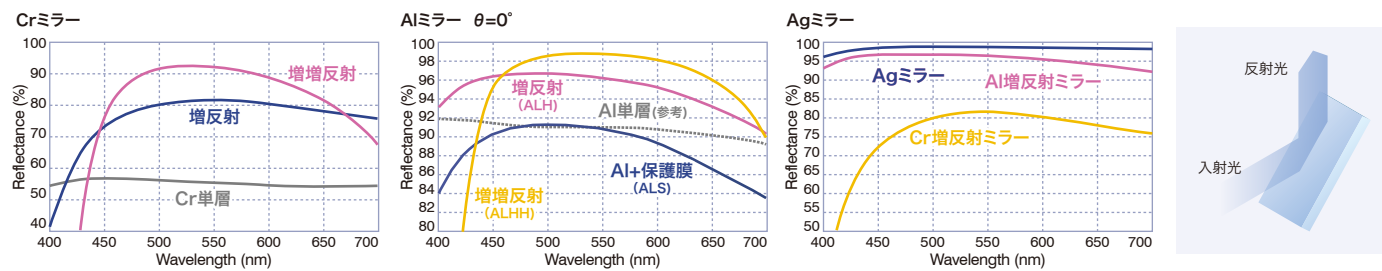


対象基板表面の反射率を低減し、映り込みや反射による透過率ロスを軽減。
基材の違いや入射角・偏光など、あらゆるバリエーションに対応。

薄膜技術 用途例: 各種光学機器、メーターカバーガラス、センサーなど(親水膜含む)

金属+多層膜

高反射ミラー(金属表面ミラー)



反射率の高い金属膜に誘電体多層コートによる透明保護膜を積層し、表面鏡として使用可能な高反射ミラーです。
必要な反射率とコストのバランスを考慮し、ベースの金属をクロム(Cr)、アルミ(Al)、銀(Ag)よりご提案します。

薄膜技術 用途例: コピー機、プロジェクター、車載機器など

曲面ガラスミラー

形状データに合わせて曲げ型を製作し、平板ガラスを高温に加熱し型に沿わせることにより、ご希望の形状(凹面/凸面、球面/非球面)に成形できます。成形されたガラスには各種ミラーを成膜することができ、樹脂を基材としたミラーと比較して高耐久かつ多様な性能を付加した曲面ミラーをご提供します。

ガラス成形 用途例: 車載HUD、プロジェクターなど

サステナビリティ

SUSTAINABILITY

村上開明堂は、「人の役に立つ」事業活動を通じて経済社会の発展に貢献するとともに、高い倫理観を備えた健全な企業市民として、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでいます。

当社ホームページでもサステナビリティの取り組みを紹介しています。併せてご覧ください。



品質への取り組み

基本的な考え方

当社では「村上開明堂グループ企業行動憲章」において“安全・品質”を筆頭に掲げ、有益で安全な製品・サービスの提供によりお客様をはじめ広く社会の満足と信頼を得ることを宣言しています。それを受け「グローバル品質方針」では、“お客様第一”、“グループ全体の品質保証体制作り”を定め、お客様のニーズにお応えした、安定的かつ継続的な高品質の実現に努めています。

グローバル品質方針

確かな品質、新しい価値観で、お客様の信頼獲得！

主な取り組み

品質保証活動は、「品質は工程で造り込む」の考え方の下で、製品設計～製造までの全部署一体となった活動で製品の市場で発生する不具合“ゼロ”を目指しています。

- DR・DRBFMなど図面完成度向上活動

- 検査と監査
- 不具合調査と源流へのフィードバック
- 材料～製品の監視

製品設計

生産準備

品質保証活動

品質管理

量産

- 金型／設備の製作
- 工程整備
- 信頼性試験
- 良品条件の確立

- 日常管理（＝良品条件管理）
- 品質チェック
- 変更点／変化点管理



ステップごとの品質確認



信頼性試験



生産工程の完成度確認

環境への取り組み

当社は「人と地球に優しく快適なものづくり」を追求した環境活動を実施し、社業を通じて「人の役に立つ」企業を目指します。

- 環境法令遵守および環境汚染未然防止
環境法令を遵守し、環境汚染の未然防止を進めます。
- 環境に配慮した製品開発・生産活動
製品開発段階から環境負荷物質、リサイクルを考慮した開発を行い、維持管理できる生産活動を実施します。
- 地域社会との共生
環境維持活動、環境貢献活動を通じ、地域住民との絆を大切にします。
- カーボンニュートラルへの取り組み
グループ一丸となり、カーボンニュートラルに取り組めます。



屋上緑化



溶剤回収装置



太陽光発電システム

地域社会とともに

静岡で創業し、地域とともに140年。継続的な「人の役に立つ」取り組みを通じて地域との良い関係を築き、共存共栄に向けて努めています。



社外清掃の実施

村上開明堂環境方針にもあるように「地域社会との共生」のひとつとして地域貢献活動に積極的に取り組んでいます。各工場を拠点とした敷地周辺の社外清掃を実施しています。



多機能カーブミラーの設置

藤枝市と協同で「多機能カーブミラー」を設置。バックミラーの技術に応用したLEDの点滅で車両の接近を注意喚起します。交差点での出会い頭の事故防止に役立っています。



福祉コンサートの実施

地域貢献イベントとして、静岡音楽館AOIにて福祉コンサートを毎年開催しております。誰もが楽しめる音楽会、誰もが気兼ねなく参加できる音楽会となることを願い、地域の福祉施設利用者を招待しております。

グローバルネットワーク

GLOBAL NETWORK

海外拠点

● 海外関係会社

- Murakami Germany GmbH

事業内容
欧州事業展開のための
マーケット調査および分析

- Murakami Manufacturing India Private Ltd.

事業内容
バックミラー製造販売



- 嘉興村上汽車配件有限公司

事業内容
バックミラー製造販売

- 佛山村上汽車配件有限公司

事業内容
バックミラー製造販売

- 天津村上汽車配件有限公司

事業内容
バックミラー製造販売



- Murakami Manufacturing U. S. A. Inc.

事業内容
バックミラー製造販売

- PT. Murakami Delloyd Indonesia

事業内容
バックミラー製造販売

- Murakami Manufacturing Mexico, S.A. de C.V.

事業内容
バックミラー製造販売

- Murakami Ampas (Thailand) Co., Ltd.

事業内容
バックミラー製造販売

- Murakami Corporation (Thailand) Ltd.

事業内容
バックミラー設計・生産準備の請負業務

- Murakami Manufacturing (Thailand) Co., Ltd.

事業内容
バックミラー製造販売

- Murakami Mold Engineering (Thailand) Co., Ltd.

事業内容
金型製造販売

国内拠点

● 国内関係会社

- (株)エイジー

事業内容
バックミラー製造販売

- (株)村上開明堂ビジネスサービス

事業内容
人材派遣

- (株)村上エクスプレス

事業内容
一般貨物自動車運送事業

- (株)村上開明堂九州

事業内容
バックミラー製造販売

- (株)村上開明堂東日本

事業内容
バックミラー、ランプ製造販売

- (株)村上開明堂化成

事業内容
樹脂製品卸販売



● 国内事業所

東京事務所

● 本社

● 築地工場

● 藤枝工場

● 大井川工場

● 焼津物流センター

沿革

HISTORY

1882年(明治15年)

静岡市七間町に「開明堂」を創業
鋳(かざり)金具とブリキ細工の製造を開始

1897年(明治30年)

水銀焼付け法による鏡の製造開始

1948年(昭和23年)

株式会社村上開明堂設立(法人改組)

1958年(昭和33年)

自動車用バックミラー生産開始

1967年(昭和42年)

静岡県藤枝市に藤枝事業所開設

1989年(平成元年)

ファインガラス事業に進出(現 オプトロニクス事業)

1995年(平成7年)

東京証券取引所市場第二部上場

1996年(平成8年)

静岡県藤枝市に大井川事業所を開設
タイに合弁会社Murakami Ampas (Thailand) Co., Ltd.を設立

2000年(平成12年)

米国にMurakami Manufacturing U.S.A. Inc.を設立

2002年(平成14年)

中国に合弁会社嘉興村上石崎汽車配件有限公司を設立
(現 嘉興村上汽車配件有限公司)

2007年(平成19年)

(株)村上開明堂九州を設立

2010年(平成22年)

静岡市葵区伝馬町に本社移転

2011年(平成23年)

静岡県藤枝市に築地工場を新設

2012年(平成24年)

インドネシアのPT DELLOYDを子会社化
(現 PT. Murakami Delloyd Indonesia)

2014年(平成26年)

メキシコに
Murakami Manufacturing Mexico, S.A. de C.V.を設立

2016年(平成28年)

インドにMurakami Manufacturing India Private Ltd.を設立

2017年(平成29年)

ドイツにMurakami Germany GmbHを設立

2022年(令和4年)

東京証券取引所の市場第二部からスタンダード市場に移行
(株)大嶋電機製作所を子会社化(現 (株)村上開明堂東日本)

